



記念講演会(ピーター・フランクル氏)



記念式典



記念祝賀会



●生徒会長挨拶抜粋  
(前略) 今日まで多くの先輩方が引き継いできた伝統をしっかり受け止め、自分たちらしく、未来を見つめ、時代に合った新しさを取り入れながら、我が母校巨摩高等学校の発展のために努力していきます。



記念品など

# 高校時代とは

校長 深沢 信吾

多くの高校生にとって高校時代は、生きることに自信を深めるための時間となっているのでしょうか。  
財団法人日本青少年研究所が中高生を対象に行った意識調査の結果を見ると、「自分をダメな人間だ」と思うと答えた日本の高校生の割合は、2011年には36%にもなっており、米、中韓の三国に比べて、この割合が突出して高いことがわかりました。それぞれのお国柄もありますが、単純には比較できないとは思いますが、それにしては日本の高校生の自己肯定感の低さには驚かされます。

High school days are when you can try anything.

自分がダメだとは誰が決めているのか。自分で思うに思っているのか、それとも他人からの評価なのか。一生の間にはどのような場面でも、高い壁がそびえ立っていることが常です。その壁をうまく回避することなど、誰にも簡単なことではないでしょう。大切なのはそれぞれの心の中で、その壁を「これは自分を成長させる試練であり、チャンスである」と捉えて、臆することなく立ち向かっていけるか否かでありましょう。  
評論家の内田樹は、「教師とは、私(生徒)にはできないという自己評価の上に、君ならできるといふ外部評価を置く人」とらえました。これは教師論と同時に、学校というものの本質をとらえていると言えます。学校とは、そこで生活する過程では、当然たくさん壁が待ち受けているのですが、その人にとって生涯でおそらく唯一の機会といってもよいのですが、その人を「大丈夫、もっと頑張れるよ。」と肯定する環境に溢れている場所なのではないでしょうか。



# 創立90周年記念式典 開催

大正11年県立第三高等女学校としての設立認可を受け、翌12年(1923年)に開校されて以来、本校は90年の歴史を積み重ねてきました。



## 巨摩高生活動の記録

### 山梨県高等学校芸術文化祭入賞

- 社会科学部門
  - 最優秀賞 青木愛里 「太平洋戦争の歴史を読んで」
  - 優秀賞 塩谷拓実 「てだのふあ=太陽の子」
- 文学部門(俳句)
  - 優秀賞 塩谷拓実 「蝉時雨掻き消すような応援歌」
- 吹奏楽部門
  - 優良賞
- 日本音楽部門
  - 奨励賞

### インターハイ(北九州総体 福岡県)

- 弓道
  - 男子団体 予選通過
  - 中込郁也・石崎和矢・松七五三潤
  - 和田満貴・中込 恋・井上貴明

### 国民体育大会(スポーツ祭 東京)

- 弓道
  - 少年女子団体遠的3位 内田麻琴
- 陸上
  - 少年男子砲丸投げ 雨宮 巧



芸術鑑賞会/世界のマルタ



国体 弓道 少年女子団体遠的3位



全国高校野球県大会応援/ベスト8進出(左右とも)



ファームインターンシップ 二輪車安全運転講習会

7月

- 5日 球技大会
- 10日 ショブカフェセミナー
- 12日 薬物乱用防止教室
- 13日 全国高校野球県大会開幕
- 17日 職業人講話
- 18日 巨摩高座談会
- 19日 エイズ講習会
- 20日 高大連携講座(以後 随時開講)
- 23日 ファームインターンシップ
- 27日 宿泊学習会(鳴沢村/~31日)

8月

- 24日 オープンスクール

9月

- 9日 生徒会役員選挙
- 13日 生徒総会
- 21日 創立90周年記念式典

10月

- 1日 後期開始
- 3日 バイク通学許可式
- 7日 公開授業週間(~11日)
- 9日 芸術鑑賞会
- 18日 サイバー犯罪防止教室

11月

- 7日 県高校芸術文化祭総合開会式